

<p>第 86 号 平成 28 年 1 月号</p> <p>HPに 創刊号から 連載中</p>	<p style="text-align: center;"><b>もう一つの道</b></p> <p>情報は、うのみにせず、注意 深く徐々に試してください。</p>	<p>山田整骨院 熊本市中央区出水 4-25-1 096-364-7611 <a href="http://yamadasu.com/">http://yamadasu.com/</a> 熊本交通事故, 山田整骨院 <input type="button" value="検索"/> <a href="http://www/jiko-kumamoto.net/">http://www/jiko-kumamoto.net/</a></p>
---	---	---

## リウマチ

医学博士 **梶尾太郎**      月刊西医学 昭和 38 年 8 号

### 原因

リウマチという病名は、原因不明の関節痛や腫脹を伴う疾患によく使われ、昔から節々が痛むとリウマチと云うようです。…略…リウマチの原因は明らかではありませんが、細菌感染やそのアレルギー性反応が想定されてきました。…略…リウマチがアレルギー現象であるとすれば、近頃盛んに実施される予防注射にその責の大部分を帰せねばならぬでしょう。純真無垢の身体に細菌やその毒素を押し込んで健康になるとはどうしても考えられません。私の五人の子供は種痘を始め、一切予防注射を受けていません。予防注射をやると、必ず発熱し、頭痛がしたり関節が痛んだりする「特異体質」だからです。最近、リウマチ性疾患とホルモンとの関係が取り上げられ、ストレス、副腎皮質、脳下垂体前葉がリウマチ性疼痛に対して重要な関係をもつことが明かになってきました。リウマチはまた、膠原病という一群の疾病に属するものとも考えられています。膠原病とは膠原繊維の類線維素性変性を現わし、遂には瘢痕組織になってしまうものです。膠原質というのは、いろんな他の組織を形成する元の組織です。子供の傷は、じきに治り跡を残しません。老人は治りが遅く、瘢痕を残すというのは、この膠原質が不完全なためです。そして膠原質の形成にはビタミンCが関係していますので、リウマチはビタミンCの欠乏状態とも云えます。事実、リウマチに罹る人はほとんど微熱患者です。…略…

### 症状

リウマチというと関節リウマチがその代表ですが、これは多発性関節炎とも呼ばれ、抗原抗体反応における組織アレルギー疾患で、扁桃炎、歯、副鼻腔などの原発巣に対するアレルギー性反応が、関節に局在化したものと考えられています。急性期には多数の関節が同時に侵される場合と 1, 2ヶ所の関節に限局して発病する場合があります。初め関節に疲労感があり、筋肉が硬くなり、やがて関節に疼痛を感じます。急性症は悪寒、発熱をもって始まります。疼痛の他、腫脹、発赤、運動障害を伴います。動かすとミシミシと雪を握るような音がします。疼痛は天候に支配されやすく、寒冷、湿度によって、又疲労によって増悪します。さらに進むと、筋肉が委縮し、関節の変形や強直が現れ、これが全身の関節におよぶと、全然動けなくなります。一般に指の関節が最も早く侵され、ついで膝が多いようです。慢性の場合は、サビついた機械のように関節内の油である滑液が濁って線維性組織が増加し、動きが悪くなってきます。硬直して関節が動かなくなると、いたみは感じなく

なります。痛いからと動かさないでいると、往々そういう結果になります。痛む間は治る可能性がある訳です。…略…

## 治療

現代医学ではコーチゾンやプレドニゾロンのような副腎質ホルモンの内服や関節内注入を行います。なる程これによって今まで痛かったのが嘘のように楽になるので、治ったような錯覚を起こします。しかし、これは治ったのではなく、身体の防御反応をにぶくするだけなのです。服用を止めるとすぐ痛み、繰返し使用している中に麻薬のように習慣性となります。顔に脂肪がたまり、赤身を帯びて満月のようになり、浮腫、頭痛、悪心、血圧上昇、糖尿病等いろいろの副作用が出るので中止しなければならず、痛むのでまた薬を飲み、そんなことを数十回も繰り返している間に、薬がはなせなくなり、一方病気は一向によくならないというのが普通です。…略…西医学の見地からすれば、リウマチに罹る人は、多くは便秘症であり、砂糖か塩からい物かのどちらかを好み、平素水を飲まず、野菜が嫌いで、生物を食べないという習慣があります。治療法としてはスイマグ水を空腹時に飲んで便通をつけ、柿茶でビタミンCを補給し、手足を痛くないように支えて毛管運動を行ってやるのがよろしい。局所へはリウハップをはり、裸療法を行います。温冷浴ができるようになれば治ったのも同然です。特に水浴中にどんどん手足を動かす練習をするよろしい。…略…膝が伸びたままだった70歳の老人が2週間の寒天断食で正座できるようになった例、55歳の婦人が立ったまま便所をしていたのが、3週間の純生野菜食でしゃがんだり歩いたりできるようになった例、小学4年生で10ヶ月間身動きもできなかったのが百日の純生野菜食で全治した例など、治癒例は数知れませんが、やせればこそ関節にたまった繊維組織も融解して、硬直がゆるんでくるのです。…略…ただ注意しておかなければならないことは、西医学を忠実に実行すればする程、痛みがひどくなることです。関節が腫れたり、熱が出たりもします。これは今までの経路を逆にたどって元の状態に復帰するための過程にすぎません。…略…痛いのが病気であり、痛みを止める人に「症状即療法」を説くのは至難の業かも知れませんが、この原理が理解されない以上は、リウマチを治すことは不可能と云えましょう。以下略。

## あ と が き

渡辺医院で研修していた時、西医学で治そうと入院して来るリウマチ患者さんは重症で、なかなか改善せず西式でも難しいと痛感しました。しかし帰熊して、熊本西会の講習会に出席した時、ボランティアでお手伝いしている健康な中年女性から、リウマチを会長の指導で治して貰えた話を聞き、西式で本当に良くなるのだと安心しました。スイマグ水、柿茶、生野菜食、裸療法、温冷浴、体操等、日常生活が治療となりますので、時間と忍耐を必要とします。

